

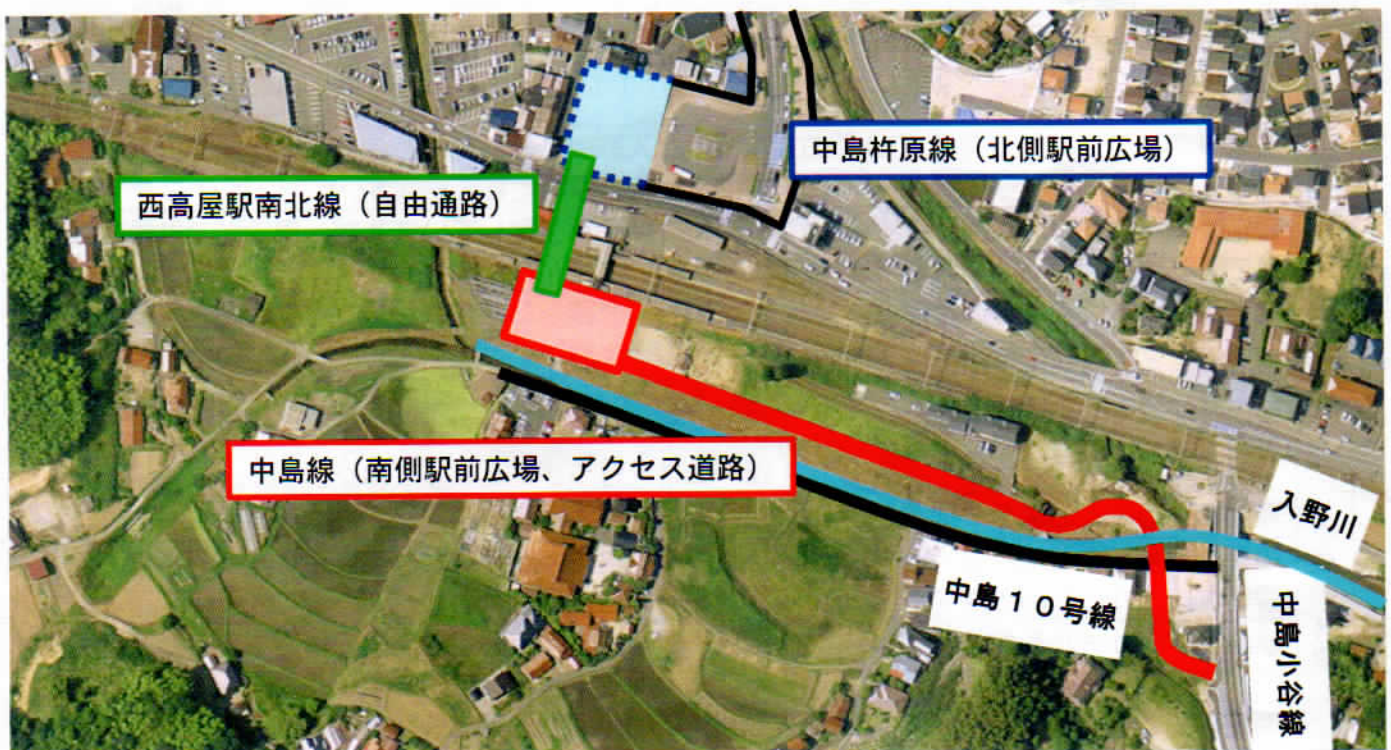
都市計画道路中島線の都市計画決定に係る 説明会の概要（平成30年9月20日、22日開催）

1 開催概要

（1）目的

本市では、西高屋駅における利便性・安全性の向上を目的に、「自由通路の設置（西高屋駅南北線）」、「南側駅前広場の設置（中島線）」、「北側駅前広場の拡張（中島杵原線）」を計画しています。

今回の説明会では、まずは「南側駅前広場」と「広場へのアクセス道路」の都市計画の決定を行うために、地域の皆さまのご意見・ご要望等を伺うことを目的として説明会を開催しました。



（2）対象者、参加者数

対象者	中島線の沿線の土地所有者・納税義務者 周辺地域の居住者
出席者	9月20日（木）：20人 9月22日（土）：40人

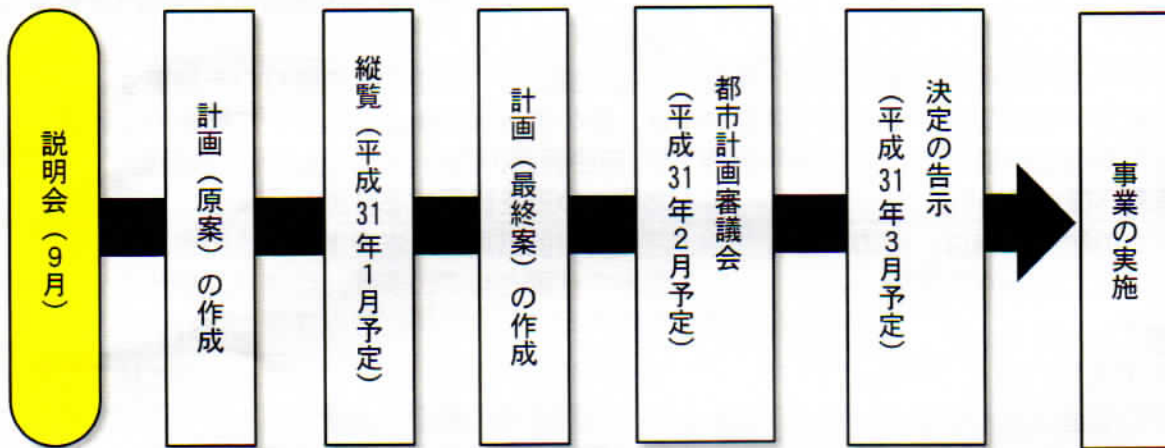
（3）説明の内容

- ・都市計画制度の概要（制度の目的、西高屋駅周辺の都市計画の状況など）
- ・西高屋駅周辺の事業計画（現況と課題、事業計画の概要など）
- ・中島線の整備計画の概要（道路の構造、事業スケジュールなど）
- ・今後の予定（計画決定までの流れ）

2 今後の進め方（予定）

今回の説明会で出されたご意見・ご要望を基に計画（原案）を作成し、平成31年1月に原案の縦覧を行うことで、市民等の皆さまのご意見を確認し、最終的な計画（案）を作成していきたいと考えています。なお、縦覧期間中に出されたご意見は、意見の要旨と市の考え方を添えて都市計画市議会に諮るものとなります。（縦覧日程等の詳細は、広報等でお知らせします。）

市としては、平成31年3月に都市計画の決定を行い、平成31年度より事業に着手していきたいと考えています。



3 主な質問と回答

	質問内容	回答
全体計画	西高屋駅に関してどのような計画を考えているのか？	①自由通路の設置（西高屋駅南北線）、②南側駅前広場の設置（中島線）、③北側駅前広場の拡張（中島杵原線）を計画しています。
	事業スケジュールを教えてください。	中島線（南側駅前広場、アクセス道路）： 平成30年度に都市計画決定 平成31年度に事業着手し、平成34年度末の完成予定 中島杵原線（北側駅前広場）： 平成31年度に都市計画決定 平成34年度に事業着手し、平成34年度末の完成予定 西高屋駅南北線（自由通路）： 平成31年度に都市計画決定 平成33年度に事業着手し、平成34年度末の完成予定
	中島杵原線と西高屋駅南北線の都市計画を決定する際には、また説明会を行うのか？	あらためて説明会を行います。 説明会は、来年度を予定しています。
	駅舎は橋上化されるのか？	JRと調整中であり、現時点では未定です。
	事業計画の決定にあたっては、十分に地域の意見を確認した上で、進めてほしい。	事業計画の決定にあたっては、説明会及び案の縦覧を行い、地域の意見を伺いながら進めていきたいと考えています。

質問内容		回 答
アクセス道路	道路の構造はどのようになるのか？	2車線（片側1車線）の片側歩道です。
	道路の線形の根拠は？	駅の南側は、線路と入野川に挟まれており、県の入野川の河川改良や周辺家屋への影響を考慮した結果、入野川の北側に計画することとしました。 また、杵原踏切の遮断時における車の滞留を避けるため、中島小谷線との接続を河川より南側にしたことから、このような線形になっています。
	歩道が片側にしかない理由は？	道路の南側は土地利用が見込まれない河川であるとともに、道路の北側の民地の将来的な土地利用を考慮し、片側歩道としました。
	中学校の通学等を考慮すると、南側に歩道を設けた方が良いのではないのか？南側に歩道があれば、横断歩道を渡らなくて済む。	駅前広場には、自由通路の降り口を設置する必要があります。駅の南側は、線路と入野川に挟まれた細長い土地であり、自由通路の降り口の設置位置と歩行者の動線を考慮し、北側に歩道を設置する計画としました。
駅前広場	南側の駅前広場は、どのような利用を考えているのか？	南側の駅前広場は、送迎車（自家用車、小型バス）の利用のみの計画としています。路線バスやタクシーは、北側の駅前広場からの利用になります。
	なぜ大型バスの利用はできないのか？	駅の南側は、線路と入野川に挟まれた土地であり、大型バスが展開するための十分なスペースを確保することができないため、大型バスの利用はできません。
	駅前広場の大きさの根拠は？	将来の駅の利用者を考慮して決定しています。
	7月豪雨時には北側の駅前広場が利用できなくなった。今後、同じような災害が起きた時には、南側の駅前広場に車が集中すると思うが、もう少し広場の面積を大きくすることはできないのか？	南側駅前広場は利用者数や利用形態から面積を決めていること、また、国の補助を受けて行う事業であることから、駅前広場の面積を過度に大きくすることはできません。
交通安全	道路が完成した後は、小学校の通学路はどうなるのか？	教育委員会と協議中であり、現時点では未定です。
	中島小谷線との交差点に信号機は設置されるのか？	信号の設置は考えていません。
	中島線が完成した後は、中島10号線の通行はどのようになるのか？中島小谷線に中島線と中島10号線の交差点が2つできて危険なのではないか？	近距離に2つの交差点ができるのは好ましくないため、中島線を主道路として、中島小谷線と中島10号線の交差点は車止め等の設置（歩行者は通行可）を考えていますが、地域の意見を踏まえて検討します。
その他	中島線が先に完成するのであれば、当面の間、南側に改札を設けて南側から駅が利用できるようにしてほしい。	中島線の共用開始は、自由通路等の完成後になりますので、南側に改札を設けることはできません。
	道路が完成後も、線路の下をくぐっている道はそのまま残すのか？	線路の下をくぐっている道は残す予定です。
南北線	自由通路は、自転車の通行は可能か？	自転車は通行できません。
	自由通路は、バリアフリー化されるのか？	エレベーター等を設けて、バリアフリー化を図ります。

質問内容		回 答
入野川は、北側と南側のどちらに広がるのか？		現在の位置から北側（線路側）に広がります。
入野川		
	改修計画はどこまでを考えているのか？	宮領川と入野川に分かれるところ（南側駅前広場の前）まで工事を行う予定としています。
	現在、駅の南側（西品寺前）に架かっている橋は、どうなるのか？	橋の付け替えを予定していますが、現段階では設置場所が決まっていません。
	施行手順を教えてください。	現在の河川を残したまま、最初に北側の護岸工事を行います。その後、河川の流れを北側に移し、南側の護岸工事を行います。
	事業スケジュールを教えてください。	平成35年までに北側の護岸改修を行い、その後、南側の護岸改修を行う予定となっております。
中島10号線	道路の構造はどのようになるのか？	幅員5mの道路になります。歩道はありません。
	中島10号線の拡幅により、道路が建築物にかからないのか？	道路が建築物にかかることはありませんが、一部、農地等へかかることがあります。
	事業スケジュールを教えてください。	中島10号線は、入野川の南側の護岸工事と同時に実施する計画であり、時期は未定です。
杵原踏切	南側から県道へ出にくいので、踏切部分を改良してほしい。	杵原踏切の改良は、地域の意見を踏まえて引き続き検討します。
	杵原踏切で混雑しているので、自動車が通れる跨線橋を設けてほしい。	自動車が通れる跨線橋となると、周辺地域（家屋等）への影響が大きく、また、事業費も多額となることから、まずは踏切部の改良のみを考えています。
浸水対策	7月の豪雨では駅の北側の地域が浸水しており、今回の事業で浸水対策も行ってほしい。	北側駅前広場の整備に併せて、地域内の雨水排水対策を検討したいと考えています。なお、現在、広島県により入野川の河川改修が進められており、完成後は浸水被害の低減が図られると考えています。

【問い合わせ先】

東広島市都市部都市計画課 上田、毛利
 住 所：東広島市西条栄町8番29号
 TEL：082-420-0954
 FAX：082-421-3233